

認知症の人と家族の一体的サポートプログラム 認知症関係者対象セミナー  
2022年2月8日資料



なご  
つどって、**和もう、**  
**笑いあおう**

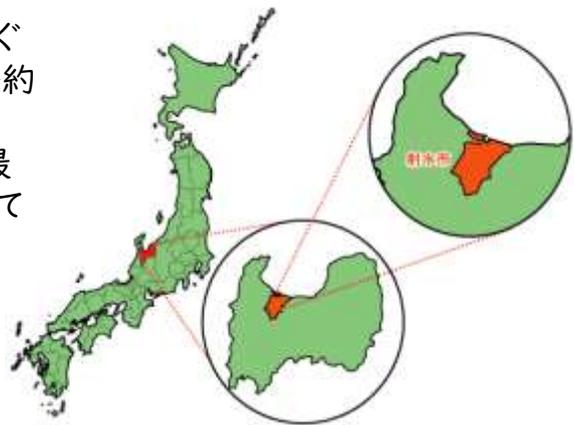
富山県射水市地域福祉課  
安元 美貴子



## いみず 射水市の概要 **いいとこ、いいもの、ギョギョっと！射水**

射水市は雄々しい立山を東に仰ぐ  
富山県のほぼ中央に位置し、半径約  
7kmのまとまりある地域です。

「いみず」という地名は、わが国最  
古の歌集「万葉集」の中にも表れて  
います。



GOOD DAY! with なごもっと

## 高齢者を取り巻く現状

- 人口 91,860人(県内第3位)
- 高齢者人口 28,000人
- 高齢化率 30.5%
- 認知症高齢者数<sup>※</sup> 3,232人(高齢者人口の11.5%)

※要支援・要介護認定者における、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の者

令和3年9月30日現在

GOOD DAY! with なごもっと

- 地域包括支援センター 委託5か所
  - ・認知症地域支援推進員「認知症ささえ隊」5名  
(地域包括支援センターに各1名配置)
  - ⇒**地域の特性(人・物)を熟知している**

- 月1回『認知症地域支援推進員部会』を開催
  - ・認知症施策の方向性の共有
  - ・具体的な検討
  - ・事例検討 等



射水市認知症ささえ隊マスコット  
「オレンジちゃん」

GOOD DAY! with なごもっと

## 開催の経緯

令和2年度～開催に向け検討を開始

### ○ささえ隊メイトの活動・活躍の場の検討

認知症サポーター養成講座を受講し、さらにステップアップ講座を受講した方。平成29年度から養成し、現在144名。

### ○認知症の人と家族の会 2つの隣市で開催。

参加者の高齢化⇒**地元での開催を希望する声**

### ○認知症の人本人からの発信支援

GOOD DAY! with なごもっと

## 関係者打合せ会の開催

令和3年6月3日

参加メンバー 18名

高岡市民病院認知症疾患医療センター  
射水市民病院認知症看護認定看護師  
地域包括支援センター、ささえ隊メイト、地域福祉課

- ・目的の共有(既存の事業との違い等)
- ・具体的な運営方法の検討

意見・課題

- ・交通手段の確保⇒歩いていける場所での開催
- ・やりたい事をどのように引き出すか
- ・飲食できたら和む(感染状況を鑑みながら)



GOOD DAY! with なごもっと

## 事業の周知方法

- チラシの配布  
地域包括支援センター、認知症疾患医療センター  
認知症の人と家族の会、市役所
- 地域包括支援センター包括会議での、ケアマネジャー等  
介護保険事業所への周知
- 射水市ホームページでの紹介
- 射水市公式ラインでの周知  
⇒家族(介護者)からの反響が大きかった



GOOD DAY! with なごもっと

## なごもっと とは?

射水市にお住まいの認知症の人と家族が集う場。  
出会い、つながり、話して、和む…。  
そんな場になればと思い、  
令和3年7月から始めました。

決まった行事などではなく、  
自由に話したり、相談したり、その日に  
集まった人で「やりたい事を、その日の  
うちにやろう」を大切にしています。



GOOD DAY! with なごもっと



令和2年2月オープン



会場 救急薬品市民交流プラザ1階  
和室・キッチンスタジオ

GOOD DAY! with なごもっと

## 話す・聴く

やってみたい事  
好きな事  
食べたい物  
得意な事  
これまでの自分の事  
気がかりな事  
家族の事・・・いろいろ



GOOD DAY! with なごもっと

やりたい事(プログラム)を通して  
距離が縮まり、自然と会話が生ま  
れます。そこから見える思い…。



【絵手紙】年賀状を描きました。2022年は寅年。  
「新年になったら、年賀状持って会いに行くちゃ。」  
「来年もがんばろうね。」



【かぎ針編み】あっという間にコースター完成。  
「昔は自分のセーターをほどいて、子どもの服を編  
んだもんやちゃ。得意やったがやけどね…。眼も見  
にくいし、頭もモヤモヤするし…。」

GOOD DAY! with なごもっと

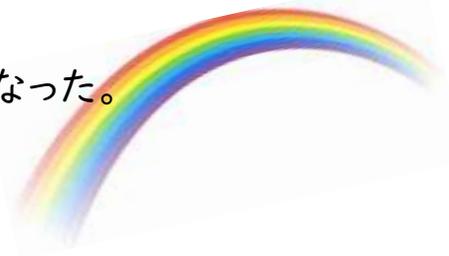
## 参加者の声

○つながれる場所がある⇒安心感

○他の参加者の親子のやりとりを見て、「こんな風に接した  
らいいんだ。」「認知症とはこういう病気なんだ。」と知ること  
ができた。

○同じ立場の人と話すことで心が軽くなった。

○楽しい。元気を分けてもらった。



GOOD DAY! with なごもっと

## 参加者の声

- 相談したいと思っていたが、相談に踏み切れなかった。  
⇒相談窓口にたどり着いていない潜在的な相談がある
- 認定調査の際、地域包括支援センターの方にお世話になった。知っている顔があると安心する。
- 会話の中で自然とスタッフ(専門職)に相談できる。
- 日常のイライラがちょっと減った。

GOOD DAY! with なごもっと

## 🍀🍀 出会いがもたらす相乗効果

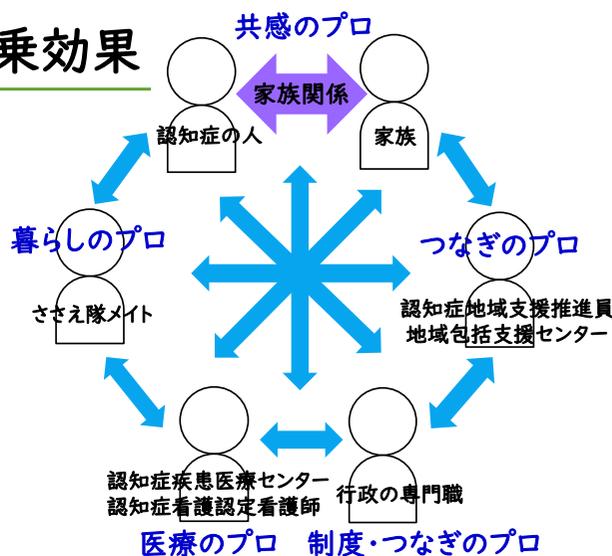
認知症という病気を理解した上で  
安心して集える場での出会い

「話す」「聴く」ことで、  
お互いが気にかかけあう

気づきが生まれる

自分の立場・相手の立場に気づく  
自分の思い・相手の思いに気づく

家族関係を見つめ直す



GOOD DAY! with なごもっと

## 専門職の役割

- 家族で抱えきれず、限界になってからの相談  
本人との関係性の構築が難しい  
本人の思いを十分に聞き取る事ができない



- 楽しい時間の共有、安心できる場での信頼関係の構築  
⇒タイムリーでかつ円滑な支援が可能
- 本人・家族の状態をプログラムを通して把握

GOOD DAY! with なごもっと

## 「なごもっと」の今後の展開

-  「認知症の人と家族の集う場」の継続
  - ・安心して集える場を確保する
  - ・思いを共感できる・共感してくれる人がいる⇒周知
-  専門職やささえ隊メイトとの相談しやすい関係づくり
-  歩いて行ける場所を増やす
  - ・『認知症の人にやさしいお店』との連携  
※認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所



GOOD DAY! with なごもっと

# 認知症になっても 住み慣れた地域で 安心して暮らせる 射水市



GOOD DAY! with なごもっと

コロナ禍で中止をする事もあり、なかなか思うように進んでいません。それでも、必要な場をしっかりと確保し、着実に広げていく事が大切であると思います。

自分が認知症になった時、自分の住むまちがどうあってほしいですか…。

安心して認知症になれる「我がまち」をつくっていきましょう。

